

第1学年国語科学習指導案

平成28年10月11日火曜日 第6校時

須崎市立朝ヶ丘中学校

1年C組 生徒数23名

場所 1年C組教室

指導者

印

学習指導要領

【指導事項（育成を目指す言語能力）】

- ・伝えたいこと事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。【B(1)ウ】
- ・書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現を参考にしたりすること。【B(1)オ】
- ・学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。【伝国(1)ウ(イ)】

【具体的な言語活動】

- ・図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。【B(2)イ】
- ※イソップ物語の内容に合う挿絵を選び、本文や挿絵から読み取れる情報を活かして、自分の意見にあった根拠を書く。
- ※新聞記事に入れる図版としてふさわしいものを選び、文章構成・文章表現・根拠などを考慮して説得力のある文章を書く。

1 単元名（題材名、主題名）

説得力のある意見文を書こう。

（新編 新しい国語1 東京書籍 書く「根拠を明確にして書こう 意見文」）

2 単元について

○単元観

本単元は、国語科学習指導要領第一学年の内容のB(1)ウ「伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。」を受けて設定したものである。

本教材は、生徒が論証の重要性を認識し、基本的な論証の仕方に触れる機会を提供することをねらいにしている。自らの主張を正しいと見なされる根拠を示して説得力のある意見文を書けるようになることが望ましいが、中学一年生には難しい課題であるため、生徒の抵抗感を減らし、取り組みやすくするため、意見を書く対象の素材を、興味をひきやすい挿絵や写真、グラフ等の視覚的なものにしていく。そのため、文章を読み、分析をして自分の意見を書くという学習よりも、積極的に学習に取り組めると考えられる。また、実生活の場面でも意見を述べたり書いたりする際に活かせる力を身に付ける練習ができると考えられる。

○生徒観

一学期の学習を通して、ペアやグループでの意見交換を多く取り入れたことで、自分の意見や考えをしっかりと持つことの大事さや、相手の意見を聞いて自分の意見と比べてみることを学習し、考えを広げることのよさを実感している生徒もいる。

中学校生活の多くの場面で感想や意見を書く機会があり、書くことについてはあまり抵抗なく取り組んでいる。人権作文の取り組みの中では原稿用紙三枚以上の文章も書くことができる生徒が多く、長い文章を書くことにも慣れてきている。しかし、文章構成、文章表現を考えて書くことや自分の考えの根拠を正しく書くことに留意して書ける生徒は少なく、何度も同じことを繰り返して書いたり、根拠と自分の意見が矛盾していたりするものも見られた。

○指導観

本教材では、「イソップ物語」の「老いたライオンとキツネ」の話を使って、文章内容の確認、挿絵の表現の観察、物語における挿絵の役割の吟味という手順を踏み、問題を検討する。問題を検討する中で見つけた長所や短所を活かして根拠を具体的に記述することで、説得力が出てくることに気づかせたい。また、一つの根拠を挙げるよりも複数の根拠を挙げることで説得力が増すこともあるということにも目を向け、自分の意見を強めるための方法として使えるようにしたい。次に、互いの意見文を読み、根拠や文章構成について意見交流する。意見交流をすることで、他の人のおもしろい考えや優れた記述を参考にしたり、根拠について疑問に思ったことや納得できないことについて話し合ったりすることで、説得力をもって意見文を書くために必要な根拠とは何かということを学ぶことができる。「イソップ物語」で学んだことを活かし、新聞記事に入れる図版を選び、意見文を書く際に、文章構成や文章表現、根拠の具体性などを考慮して、説得力のある意見文が書けるようにしていきたい。

3 単元の目標

- ・相手や目的を意識して、説得力のある根拠を示した意見文を書くことができる。【B(1)ウ】
- ・書いた文章を互いに読み合い、根拠の具体性や説得力などについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすることができる。【B(1)オ】
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を使い文書を書くことができる。【伝国(1)ウ(イ)】

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・写真や図表を用いた説明の効果などを考え、自分の考えを根拠を明確にして意見文を書こうとしている。【B(1)ウ】	・相手や目的を意識して、説得力を持つ具体的で明確な根拠を示して意見文を書いている。【B(1)ウ】 ・書いた文章を互いに読み合い、写真や図表などを使った効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現に活かしたりしている。【B(1)オ】	・今までに学習した漢字を使って文書を書いている。【伝国(1)ウ(イ)】

5 指導と評価の計画（全5時間）

時数	【 】←指導事項 ○←指導のねらい(目標) ・←学習活動	評価			評価方法
		評価規準			
		国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能	
1	【B(1)ウ】 【伝国(1)ウ(イ)】 ○根拠の入った意見文を書き、挿絵の役割を確認する。 ・学習目標を確認する。 ・前単元で学習した図表を使う効果について復習する。 ・イソップ物語を読む。 ・物語に合う挿絵を選び、意見文を書く。 ・物語における挿絵の役割について考える。	・写真や図表を用いた説明の効果などを考え、自分の考えを根拠を明確にして意見文を書こうとしている。 《B(1)ウ》	・相手や目的を意識して、説得力を持つ具体的で明確な根拠を示して意見文を書いている。 【B(1)ウ】	・今までに学習した漢字を使って文書を書いている。 【伝国(1)ウ(イ)】	ワークシート 観察
2 (本時)	【B(1)オ】 ○説得力のある根拠について吟味する。 ・自分の書いた意見文の根拠を書き出す。 ・反対意見の人を納得させるための根拠を吟味する。 ・説得力のある根拠の特徴をまとめる。		・書いた文章を互いに読み合い、写真や図表などを使った効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現に活かしたりしている。 【B(1)オ】		付箋 ワークシート 発表
3	【B(1)ウ】 【伝国(1)ウ(イ)】 ○意見文を書き直し、意見交流を行う。 ・意見文を書き直す。 ・書き直した意見文を反対意見をもつ人に読んでもらい、意見交流を行う。 ・まとめをする。		・相手や目的を意識して、説得力を持つ具体的で明確な根拠を示して意見文を書いている。 【B(1)ウ】	・今までに学習した漢字を使って文書を書いている。 【伝国(1)ウ(イ)】	
4	【B(1)オ】 ○新聞記事に入れる図版の特徴を掴む。 ・新聞記事を読み、内容を把握する。 ・写真やグラフの特徴を捉え、それぞれの役割を考える。 ・それぞれの長所と短所を考える。		・書いた文章を互いに読み合い、写真や図表などを使った効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現に活かしたりしている。 【B(1)オ】		

5	<p>【B(1)ウ】 【伝国(1)ウ(イ)】</p> <p>○自分の選んだ図版に合った根拠を選んで意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事に入れる図版を選び、根拠を決める。 ・相手や目的、文章構成、文章表現、根拠の選び方などを考え、意見文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図表を用いた説明の効果などを考え、自分の考えを根拠を明確にして意見文を書こうとしている。《B(1)イ》 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を意識して、説得力を持つ具体的で明確な根拠を示して意見文を書いている。【B(1)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習した漢字を使って文書を書いている。【伝国(1)ウ(イ)】 	
6	<p>【B(1)オ】</p> <p>○意見文を読み、感想を交換する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた意見文を読み合う。 ・説得力のある文章になっているか感想を交換する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を互いに読み合い、写真や図表などを使った効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現に活かしたりしている。【B(1)オ】 		

6 本時の指導 (2/6時間目)

(1) 本時の目標

- ・説得力のある根拠について吟味する。

【B(1)オ】

(2) 本時の評価規準

- ・書いた文章を互いに読み合い、写真や図表などを使った効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現に活かしたりしている。

【B(1)オ】

(3) 準備物

付箋、短冊、マジック、ワークシート

(4) 学習の展開

		学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
導入 〔3分〕	めあての設定	○めあてを確認する。		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">説得力のある根拠を見つけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の中心になることが根拠の吟味だということを理解させる。 	
展開 〔40分〕	解決活動 (自力解決)	○前時に書いた意見文の根拠として挙げたものを付箋に書き出す。(個人)	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの付箋に一つの根拠になるように書かせる。 ・付箋に書くことで、自分の書いた根拠が読み手に伝わるものか確認させる。 	

		<p>○付箋に書き出した根拠について吟味する。(グループ)</p> <p>○説得力のある根拠であると考えられるものを短冊に書く。</p> <p>○グループで話し合ったことを全体で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠として、反対の意見の相手を納得させることができるかどうかを考えさせる。 ・反対の意見であることにも当てはまるものは根拠として説得力が弱いことに気づかせる。 ・納得させられないと思う場合は、疑問や質問を出し、どのように直すと納得させられる根拠になるか話し合わせる。 ・言葉を言い換えるとより説得力が増すこともあることに気づかせる。 ・吟味するポイントは物語における挿絵の役割が使えることを示しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にイメージしやすい ・重要部分の印象を強める ・話の理解の手助けになる ・文章の硬い印象を柔らかくし、楽しませる ・読者を引きつけ、読みたいという気持ちにさせる </div> <ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある意見文を書き直すために、A・Bの両方の意見の根拠を出せるようにする。 ・話し合った根拠がいいと思われる理由をしっかりと発表できるようにする。 ・グループでまとめたものをもとに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を互いに読み合い、写真や図表などを使った効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現に活かしたりしている。 <p style="text-align: right;">【B(1)オ】</p>
まとめ 〔7分〕	まとめ・振り返り	○本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で分かったことや次から活かしていきたいことを書くように声をかける。 	